



新「名寄市」スタート

新たなまちづくりのはじまり

平成18年3月27日、名寄市と風連町がひとつになって新たな歴史を刻み始めました。新「名寄市」のスタートです。

合併の日には、それぞれの庁舎で開庁式が行われました。

4月からは、さまざまな市民議論を経て名寄市立大学が開学し、新「名寄市」と共に新たな歴史を刻んでいくことになりました。

新「名寄市」のスタートとともに、さまざまなまちの動きやお知らせなど、市政と市民の皆様とのパイプ役を果たすため、「ここに」広報なよろ「創刊号をお届けします。

これまでと同じく、「広報なよろ」は毎月1回、1日発行で、町内会と行政区を通じて全世帯に配布します。

また、名寄新聞に設けていた「名寄市広報欄」を北都新聞にも設けるほか、合併と同時に開局した、エフエム放送局「AIRてっし」を活用した広報にも取り組みます。

「風連町」合併特例区が発行するお知らせ版は、行事予定を中心に、今までどおり風連地区に配布します。

例年4月号でお知らせする新年度の予算と事業の特集、合併に伴う市長選挙の日程は、新市の議会や選挙管理委員会などの組織体制が決まってからお知らせすることになります。

また、新「名寄市」になってからの変更点や制度の違い、経過措置、主な公共施設の開館時間・休館日など、今後も広報なよろでお知らせする予定です。市民の皆様のご意見などもお寄せください。

新「名寄市」の面積・人口・世帯数

面積	
新市	535.23km ²
名寄地区	314.62km ²
風連地区	220.61km ²

人口(平成18年2月末)		世帯数(平成18年2月末)	
新市	31,846人	新市	14,515世帯
旧名寄市	26,625人	旧名寄市	12,514世帯
旧風連町	5,221人	旧風連町	2,001世帯

人口(平成17年国調)		世帯数(平成17年国調)	
新市	31,624人	新市	13,039世帯
旧名寄市	26,586人	旧名寄市	11,209世帯
旧風連町	5,038人	旧風連町	1,830世帯



新「名寄市」誕生記念で聞いてみました。

新「名寄市」に期待することは？



新市転入第1号

やすなが のぶお

安永信雄さん

千歳市から転入しました。新「名寄市」の誕生、合併記念の日に転入できて光栄です。新しいまちづくりを期待します。



新市婚姻届第1号

なら しょうへい さゆみ

奈良将平さん 紗弓さん

転入は後になりますが、新「名寄市」といっしょのスタートです。幸せのあふれる町になって欲しいと思います。



〔制作者〕

佐々木優子さん

(秋田市)

名寄市の頭文字「N」をモチーフに、合併する風連町と名寄市の住民が、あふれる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせて創り上げ発展していく様子を表現しています。新市を誇りに市政と共に飛躍していく躍動感のあるデザインです。

合併情報あれこれ

名寄庁舎と風連庁舎の機能分担

名寄市役所の名称は、合併後もそのままですが、新しい市役所では双方にある庁舎を活用し、「二つの庁舎で一つの市役所」を構成する「分庁方式」となります。名寄庁舎には総務部・生活福祉部・教育部の3部を、風連庁舎には経済部・建設水道部の2部を配置しますが、市民の皆様が不便を感じないように市民係をはじめ福祉や税務などの窓口部門は両庁舎に配置しています。

両庁舎とも、開庁時間は午前8時45分から午後5時15分までで、市役所への電話については今まで同様代表電話をご利用ください。(名寄庁舎01654・3・2111、風連庁舎01655・3・2511)なお、夜間や休日、お急ぎの電話はそれぞれの部が配置されている庁舎におかけください。名寄地区と風連地区間の電話は、市外局番が必要になりますが、通話料金は市内通話料金です。

ごみの分別方法

ごみの分別は、炭化・埋立・粗大・危険・資源の5種類で、4月からは名寄地区で「紙製容器包装」が追加となり、風連地区では「その他のプラスチック」が無料収集に変わります。

指定袋が新しくなりますが、購入済みの指定袋はそのまま使うことができます。

また、4月から家庭の埋立ごみの直接搬入先が、風連最終処分場となりました。名寄地区からは遠くなりますが、市民の皆様のご理解をお願いします。